

防衛力の在り方検討に関する中間報告について

検討の経緯

- 中国の我が国周辺海空域における活動の急速な拡大や北朝鮮のミサイル発射など、我が国周辺の安全保障環境は一層厳しさを増している。また、米国はアジア太平洋地域へのプレゼンスを強調し、我が国を含む同盟国等との連携・協力を指向。更には東日本大震災における自衛隊の活動においても、対応が求められる教訓が得られている。このことから、政府は本年中に防衛大綱を見直すこととしており、防衛省は、「防衛力の在り方検討のための委員会」を本年1月に設け、検討を実施。
- 委員会は、特に統合運用の観点を重視して議論の上、これまでに得られた検討の方向性及び論点について7月26日に防衛会議に報告(中間報告)。当該中間報告の概要は以下のとおり。

報告書の概要

- 1. 安全保障環境**: グローバルな安全保障環境、我が国をめぐる安全保障環境 [⇒次頁](#)
- 2. 我が国自身の努力**: 政府としての総合的な取組の強化
- 3. 日米同盟の強化の方向性**
 - 我が国の担うべき役割・任務やガイドラインの見直しの議論を通じ日米防衛協力を更に強化
 - 在日米軍の再編を着実に進め、米軍の抑止力を維持しつつ、沖縄などの地元の負担を軽減
- 4. アジア太平洋地域における協力の推進とグローバルな安全保障環境の安定化への取組**
 - 米・豪・韓国との連携強化、中・露との対話・交流の推進、能力構築支援の拡充
 - NATO等の国際社会と連携した安全保障環境の安定化、国際平和協力活動の積極的な推進
- 5. 防衛力の在り方 [⇒次頁](#)**
 - 各種事態に防衛力が有効に対応できるか、統合運用を踏まえた能力評価を実施。かかる検証を踏まえた、現時点で得られている今後重視すべき自衛隊の体制整備の方向性は以下のとおり

■ 警戒監視能力の強化	■ 島嶼部に対する攻撃への対応
■ 弾道ミサイル攻撃・ゲリコマ対応	■ サイバー攻撃への対応
■ 大規模災害等への対応	■ 統合の強化
■ 情報機能の強化	■ 宇宙空間の利用の推進
■ 海外での活動能力の強化	■ 海洋安全保障への積極的な取組

6. 防衛力の能力発揮のための基盤

- **演習・訓練**: 平素から各種演習等を通じ、事態対処のための各種計画を不斷に検証、北海道はじめとする充実した訓練を行える環境を最大限活用
- **運用基盤**: 駐屯地・基地等の抗たん性の強化、施設・宿舎の整備、弾薬の確保、可動率の向上
- **人事教育**: 各種人事施策の検討を深化（予備自衛官の拡充の検討含む）
- **衛生**: 衛生の近代化・高機能化の推進、事態発生時における救護能力の向上
- **防衛生産・技術基盤**: 防衛生産・技術基盤の維持強化、武器輸出三原則等の運用の現状を検証し必要な措置を講ずること、ロボット等の無人装備・サイバー・宇宙等を含め将来を見据えた研究開発
- **地域コミュニティーとの連携強化等**: 地方組織の在り方、防衛省の情報発信の強化

7. 防衛省改革との連携

- 本年2月に別途「防衛省改革検討委員会」を設置し議論・検討中
- 不祥事の再発防止の観点及び自衛隊をより積極的・効率的に機能させる観点から、隊員の意識改革を進め、文官と自衛官がより一体的に機能するものとしつつ、統合運用の強化、全体最適化された防衛力整備等のための業務や組織の在り方について検討を行っているところ

8. 留意事項

- 中長期的見通しに立った防衛力整備の観点から別表は引き続き維持する必要

報告のポイントについて

安全保障環境

現大綱策定以降、グレーゾーンの事態の長期化やこれがより重大な事態に転じる可能性、中国による、透明性が十分確保されていない形での軍事力の広範かつ急速な近代化や海洋における活動の急速な拡大・活発化、北朝鮮の核・ミサイル開発の更なる進行、サイバースペース等の安定的利用が阻害される可能性の増大等、様々な安全保障課題や不安定要因が顕在化・先鋭化してきており、我が国を取り巻く安全保障環境は一層深刻化。また、国内にあっては、**大規模災害等への備えの重要性**が改めて認識。

今後重視すべき自衛隊の体制整備、方向性

一層深刻化している安全保障環境を踏まえ、より実効的な防衛力の整備を構築していくため、**統合運用を踏まえた能力評価**を行い、自衛隊全体の機能・能力に着目し防衛力整備において重視されるべき機能・能力を導出。これに基づき、今後の**防衛力整備の優先事項を明確化し、統合的かつ総合的な視点**から真に実効性ある防衛力を整備していく。重視すべき主な項目は以下のとおり。

警戒監視能力の強化

※ 現段階で得られているものについて以下例示

- 各種事態の兆候を早期に察知する能力の向上のため**各種装備等の充実が不可欠**。この中で、広域における常時継続的な警戒監視態勢の強化に資する**高高度滞空型無人機の導入等**を検討。

島嶼部に対する攻撃への対応

- 島嶼部への攻撃に対して実効的に対応するためには、**航空優勢及び海上優勢を確実に維持することが不可欠**。また、事態の推移に応じ、部隊を迅速に展開するため、**機動展開能力や水陸両用機能を確保することが重要**。
- 機動展開能力等の着実な整備のため、部隊・装備の配備、**統合輸送の充実・強化**や**民間輸送力の活用**、補給拠点の整備、水陸両用部隊の充実・強化等について検討。

弾道ミサイル攻撃及びゲリラ・特殊部隊への対応

- 北朝鮮による弾道ミサイルの能力向上を踏まえ、**我が国の弾道ミサイル対処態勢の総合的な向上による抑止・対処能力の強化**について改めて検討し、**総合的な対応能力を充実させる必要**。また、同時並行的にゲリラ・特殊部隊による攻撃が行われた場合に備えた運用基盤や原発等の重要施設防護能力の整備についても検討。

サイバー攻撃への対応

- サイバー空間における攻撃からの防衛は、単一の組織で成し得ることが困難であることから、政府内での**省庁間の役割分担**のほか、**米国等や民間企業との連携・協力の強化策**を検討。また、**専門家の育成**や必要な機材の整備を着実に進める施策を検討。

大規模災害等への対応

- 部隊が**大規模・迅速に展開できるよう必要な輸送力を確保**するとともに、**演習・訓練の充実**を図り、今後発生が懸念される南海トラフ巨大地震や首都直下型地震等への対応に万全を期す。

統合の強化

- 統合運用の重要性を踏まえ、**統合幕僚監部等の機能・役割**について改めて検証。また、**陸自における中央指揮組織の設置**及び当該組織と各方面隊の関係の在り方について検討を深化。

情報機能の強化

- 防衛駐在官を含む**人情報収集機能の強化**、地理空間情報を含む**収集機能の拡充、分析要員の確保・育成**等の抜本的強化について検討。

宇宙空間の利用の推進

- **宇宙状況監視**に係る米国等との連携や各種衛星の効果的活用等、**C4ISR(※)能力強化のための宇宙空間利用**に向けた検討を深化。 ※C4ISR: 指揮・統制・通信・コンピューター・情報・警戒監視・偵察